

福島第一原子力発電所1号機 制御棒位置検出器の状態確認結果について

<目的> 制御棒位置検出器（以下、PIP）の接点状態を確認することにより、PIP～ケーブルについての健全性等を評価し、原子炉圧力容器（以下、RPV）の下部状態の推定が可能か判断すること。

<内容> PIPのうち、制御棒全挿入位置スイッチのON及び全引き抜き位置スイッチのOFF状態を確認。

<期間> 平成23年9月12日～9月14日

<結果> 制御棒97体について、4つのPIP接点動作確認結果は以下のとおり。
事故時の高熱の影響等により、PIP検出ケーブル格納容器貫通部またはケーブルが集合している範囲で、ケーブルが損傷し、短絡あるいは断線が発生している可能性あり。今回の調査結果から、RPV下部の状態を推定することは困難。

図1.制御棒駆動機構制御棒位置検出の概要

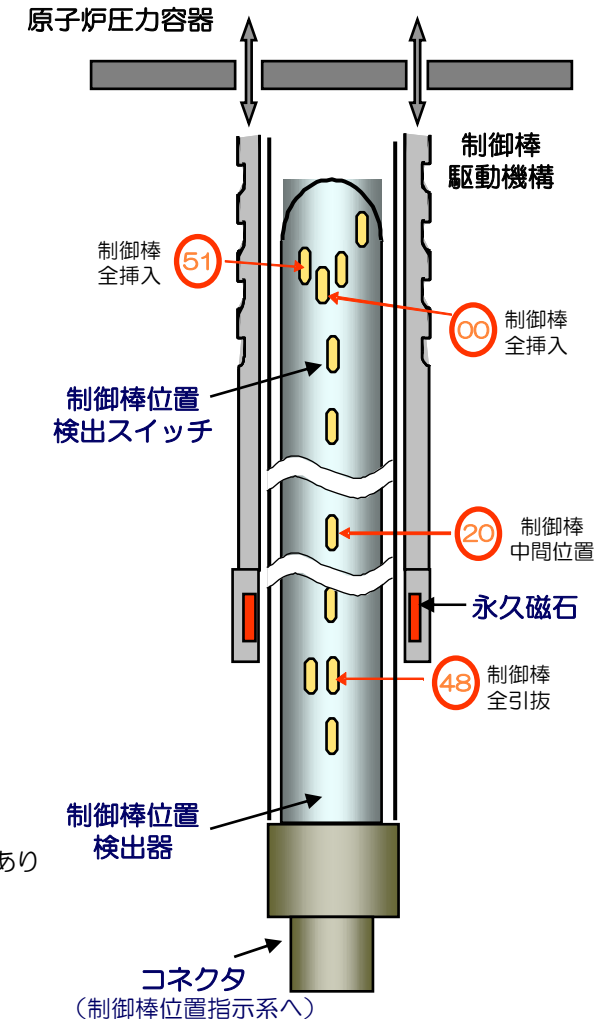


図2.位置検出器の動作確認結果

